

諮 問 第 1 1 号  
平成 19 年 6 月 11 日

情報通信審議会  
会長 庄山 悦彦 殿

総務大臣 菅 義偉 印

諮問書

下記について諮問する。

記

生産性向上のための ICT 共通基盤の整備方策

## 諮問第11号

### 生産性向上のためのICT共通基盤の整備方策

#### 1 諮問理由

我が国ICT産業の実質GDP成長に対する寄与度は40%に及んでいる。諸外国においても、2000年から2004年までのEUの経済成長の50%はICTによるものと報告されており(2007年3月、欧州委員会報告書)、ICTが経済成長をけん引している。

他方、日米を比較すると、1995年から2000年にかけての実質ICT投資の伸びは、米国180%、日本37%であり、これを反映して実質GDPの伸びは、米国25%であるのに対し、日本は5%と低調であった。

また、2000年から2004年までのICT投資とGDPの関係も同様の傾向を示している。

このように、米国の1990年代後半以降の高い経済成長は、企業のICT投資の増大に支えられたのに対し、この間、我が国のICT投資の伸びは低調であり、今後の我が国の経済成長を更にけん引するためにはICT投資の加速化が求められている。

そのような流れの中、総務省では「ICT改革促進プログラム」(平成19年4月20日公表)において、経済成長寄与度の高いICT産業の国際競争力を強化することにより、人口減少社会下の我が国経済を新たな成長のトレンドに乗せるとともに、サービス産業、中小企業等ICT利用産業の生産性向上のため、実社会とネットワーク上の活動を結びつける総合的なコード(番号)体系の検討やASP・SaaS等の新たなネットワーク・サービスの普及促進のための環境整備など、ICT共通基盤の整備に取り組むとしたところである。

そこで、オープンで総合的なコード体系の在り方、業種・業界横断での電子タグの導入・普及方策、ASP・SaaSの普及促進・高度化方策等、生産性向上のためのICT共通基盤の整備方策について、情報通信審議会に諮問するものである。

#### 2 答申を希望する事項

生産性向上のためのICT共通基盤の整備を図るため、以下の事項について答申を希望する。

- (1) オープンで総合的なコード体系の在り方
- (2) 業種・業界横断での電子タグの導入・普及方策
- (3) ASP・SaaSの普及促進・高度化方策

#### 3 答申を希望する時期

平成20年3月目処

#### 4 答申が得られた時の行政上の措置

今後の情報通信行政の推進に資する。